

響

聖公会生野センター機関誌

ウルリム（響き）

第16号

2000年8月10日発行

題字：康秀峰

枠ではなく 人として

吳 光 現

5月17日夕方、私は韓国は光州の道庁前にいた。20年前の光州民主化運動に関する行事に出席するためである。20年前、私は大学4年生で、韓国の民主化運動が勝利し、民主化・祖国が統一されるのを確信していた。が、光州民主化運動を銃剣で踏みにじった軍部がその後も政権を掌握し、統一どころか民主化の実現すら遙か彼方と思えたのである。しかしその後の20年間で「共産暴動」と烙印を押された光州民主化運動は「韓国史に輝く民主化運動」と国会で評価され、死刑を宣告された金大中氏が大統領として現在に至っている。

6月の南北の首脳会談は一気に進展を見せ「南北共同宣言」まで発表された。この画期的な出来事に日本のマスコミはこぞって生野に来て、在日の喜びの表情を全国に発信した。しかし、この頃から心の中で「待てよ？」と思うようになったのである。

5月光州にいた時、韓国の有名な環境運動家である大学教授がセクハラ事件で訴えられ、民主化運動を祝いに来た運動圏出身の国会議員が女性を侍らせて飲み屋で騒いでいたとすっぱ抜かれた。

もくじ

2. 時のしるし
始め直さなければならないこと
3. すべてをごっちゃ混ぜにした場がいいなあ
絵画教室の7年間を振り返って
4. 「三国人」発言の背景から見えるもの
瀧澤秀樹さん講演録
6. 聖公会生野センターでの研修を終えて
大韓聖公会分かち合いの家インターン研修
8. パンチョギの家族日記
ズボン風
9. 本から「在日コリアン」を考える②
韓国風俗産業の政治経済学
10. お知らせ・余韻

後者に至ってはそれを目撃した女性がインターネットで発信したのである。

生野区に殺到する「マスコミ」、性的スキャンダルを起こす「民主化運動家」たち。どうもこの2つが僕に「待てよ？」と思わせる原因のような気がしてならない。光州では平和・人権をテーマにした国際シンポジウムがあった。これに、韓国籍ではなく朝鮮籍の在日が参加した。彼らは大きな感動を持って迎えられた。光州市民が多く参加した前夜祭では司会の女性が数万の群衆に対して「ここに3名の朝鮮籍の在日同胞が参加しています。ここではすでに南北統一がされています」と大きく叫んだ。これと同じようなことはシンポジウム中にもあった。朝鮮籍＝「北朝鮮の国籍」と考えるのは実は間違いである。南北双方の国家に属さないという思いで朝鮮籍を保持する在日同胞もいる。同じ20代の在日の3世が、片や朝鮮籍であることで大歓迎を受け、片や韓国籍の在日の青年はただの一参加者のまま。同じ歴史を背負って生まれてきた在日3世同士が極端に違った扱いを受ける、これを目の当たりにして中年にあたる2世の僕は「在日の憂鬱」を思わざるを得なかった。

国家の枠ならば「最高権力者」の会談の成功にすべてがうまくいくと思ひ、社会の先頭にいる人たちが男女の枠では「民主主義」とはほど遠い事をする。これはまさに私たちが常日頃唱えている「民衆が中心」や「男女協働」とは対立することである。

南北頂上会談に涙する在日1世の思いに応えるのは私たちが在日に与えられた大きな命題であると共に日本人の命題でもないだろうか？それこそが「協働社会」の第一歩ではないだろうかと思う。人を隅に置いたままでもなく、変に持ち上げるのもなく、人を枠ではなくその人そのまま認めて共におこなうことが…。

(お・くあんひょん 聖公会生野センター主事)

去る6月14日、朝鮮半島において南北首脳会談が実現し、共同宣言が採択された。当事国である大韓民国（韓国）・朝鮮民主主義共和国（北朝鮮）はもとより、日本、中国、ロシアなどの周辺諸国、アメリカなどの欧米諸国の政府、マスコミ、国民はこぞってその実現と成果を高く評価した。

日本における在日韓国・朝鮮人社会においても、大方は歓迎され、今後の動きへの期待が各所で語られた。在日社会の中に持ち込まれた南北分断は、対立と分裂を生み、彼らを二分している。それだけに今回の出来事は、たいへん大きな進歩である。生野でも、あちこちで熱い乾杯が交わされたことだろう。

思えば、10年前、誰もが予想だにできなかったスピードで、ベルリンの壁は突然崩れ去った。これと同じように朝鮮半島においても、長かった分断の歴史が、突然音をたてて崩れ去る日が近いのかもしれない。

韓国のキリスト教会では、ヨベルの年を1995年と定めて、民衆の神学を基に、いわゆる統一神学が構築された。南北分断を民族が負わされた十字架ととらえ、「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」と、イエスの十字架上の叫びを神に向かって叫び続けた。今、この会談の実現によって、その叫びが聞き入れられつつあるのだ。

そして、統一神学は、離散家族が、ともに食卓につける日、ともに聖餐にあずかることのできる日を心待ちにしてきた。今回の共同宣言の中で最も具体的に示されたのが、その離散家族の再会のことであった。この号が世

始め直さなければならぬこと

松山 献

に出る頃には、すでに訪問団の交換が実現しているはずである。

日本人は、統一問題に対してもある一定の責任がある。「分断は朝鮮に対する、日本の植民地支配の帰結」（和田春樹）だからだ。そして、分断を決定的にした朝鮮戦争を軸にして日本は経済的繁栄を築いたという意味でも、日本人には責任がある。こうした点をふまえた上で、日本国政府として、また日本人として、今回の会談の意義を考え、共同宣言に盛り込まれたいくつかの事柄の実現に向けて、協働していくことが求められる。

会談の実現と宣言の発表は、日本の在日韓国・朝鮮人社会にも大きな福音であった。在日韓国・朝鮮人という呼称自体が分断の産物であり、この言葉がなくなる日も近いことを期待する。在日の人たちのコメントの中で最も印象的だったのは、「初めてのことを殊更に始めようというのではないのだ。南北共同宣言はすべてが、始め直さなければならないことを始めようといっているのだ」（6月20日付読売新聞朝刊）という金時鐘（きむ・しじょん）氏の言葉である。

日本人もまた、統一問題にたいして自らの責任を自覚し、何も目新しいことを始めるのではなく、これまですでに十分考えられてきたことについて、「始め直さなければならないことを始め」ようではないか。言い古された言葉ではあるが、日本人は朝鮮半島の人々のよき隣人であり続けたいのである。

（まつやま・けん 京都聖ステパノ教会信徒）

すべてをごっちゃ混ぜにした場がいいなあ

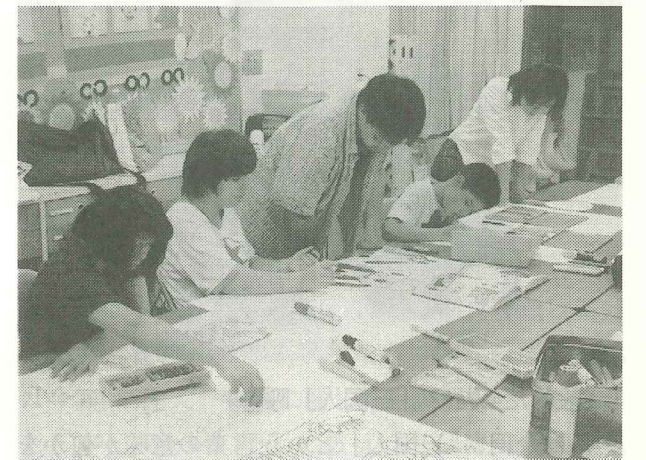
絵画教室の7年間をふりかえって

久保麗子

「くぼっちー！」夜7時、生徒たちの賑やかな声。嵐でもやって来る彼ら彼女ら。画用紙に向かってはやばやと自分の世界に入っていく子、片付けざりざりまで世間話をし、残り10分で描き上げてしまう子。20分も描かないうちに遊びだす子、1年間同じ絵を描き続ける子、一度に何10枚と描く子、お菓子を持ってきて宴会する子。個性の爆発！かって気まま、でも親しみ深い子たち……

彼らのほとんどは何らかの障害を持っています。地域にはあまりにも彼らを閉ざした門が多いことを知らされました。ハンディ・国籍、年齢、性別、全てごっちゃ混ぜにした場がいいなあ、だからこそ、ここは、開かなくてはならないと思いました。

でも、私1人では無理でした。車椅子のMさんはトイレ介助や絵の具の出し入れ、元気なYくんHくんは、彼らを見守れる人が必要。そこで、昨年ボランティア募集を呼びかけ現在2人のボランティアさんが常時来るようになってから事態が嘘のように変わりました。ボランティアさんのお陰で頑張ってる様子を見逃さない。うなづくだけで、どんなにその子の自身に繋がるか。何よりその瞬間、一緒に喜ぶことの大切さを私たちは



学んでいきました。

私はこの教室でお互いの違いを楽しめる、あるいは楽しませることが出来ることを心から感謝しています。

（くぼ・れいこ 元聖公会生野センター絵画教室講師・コリアボランティア協会スタッフ・芦屋聖マルコ教会信徒）

そんな絵画教室を今年6月末を持って辞めることになりました。

現在私はコリアボランティア協会というところで働いています。主に障害者や高齢者の日常介護を担当しています。その事務所を無償で提供してくれたオーナーが新しいオーナーに変わり、今年6月に事務所の立ち退きを言い渡され、私の仕事も移転資金や当面の活動資金を捻出する働きに絞らざるを得なくなりました。みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

生徒の皆さん、ボランティアさん、絵画教室の場を与えてくださった聖公会生野センターさん、ガブリエル教会の皆さん、こひつじ乳児保育園のみなさん、本当にありがとうございました。早く引き継いでくださった大澤先生、これからも頑張ってください。

内科・小児科
ゆたかクリニック
医学博士 任 本性
〒561-0826 豊中市島江町1-3-1-102
☎06-6334-1120
*往診いたします。

（診療時間）
月 火 水 木 金 土 日
午前 9:00-12:00 ○ ○ ○ ○ ○ ○ X
午後 5:00-7:30 ○ ○ X ○ ○ X X

（休診日）
水曜日午後
土曜日午後
日曜日・祝日

何が問題？「三国人」発言の背景から見てくるもの

瀧澤 秀樹



【一般的だった？「三国人」呼称】

私は今回、「三国人」という言葉の意味が何かをきちんと把握しようと調べましたが、できませんでした。差別語として登場したのは戦後すぐです。私が持っている書物の中にはこれは扱われていません。著者たちは進歩的、良心的な歴史学者たちです。私がみたところ全く触れていない、これが問題なのです。

学者は使っていないが、一般的には使われていた。私の世代の記憶には明確にあるはずですが。私は東京で大学生活を送り、27歳の時、関西に来ました。私はこの言葉の定着度は関東より、関西の方が強いと思います。それはいわゆる「三国人」が多いからです。私は神戸の大学に来て、そこで「戦後、神戸もヤミ市があって三国人はどれだけひどいことをしたか」という話を聞き、この言葉はまだ生きているのだと思いました。

私はある教会で長老の一人でした。ある長老が「韓国でキリスト教が力を持っているのはなぜか、一度韓国のクリスチャンと対話したい」という話になり、教会に招こうとなりました。しかし、長老会でその話をしたら否決されてしまいました。日本の植民地支配の責任を追求されたらどうするのですかということでした。私は韓国のクリスチャンがどう考えているのかそういう対話をしたかったのです。日本の教会を去ったのはその時です。

「第三国人」は「自分の国もない人のくせ、偉そうにしている」という意味で使われていたようです。日本の敗戦の時点で朝鮮半島に国はありません。国家の成立は1948年です。中国は1949年に中華人民共和国が成立しました。中華民国は日本と国際法的に戦争をしていた国です。しかし、中華人民共和国はなかったため、日本は中国と戦争をして負けたということではないということになります。日本はアメリカに負けたのであってアジアに負けたのではないという考えは常識化していると思います。そして「三国人」とは敗戦国でも戦勝国でもない、しかも国がない人たちという意味で一般には使われていた言葉であると記憶しています。しかしそういうことについて総括してこなかったことに問題があります。

【石原発言の問題性】

私は石原発言と森首相の「神の国」発言の関係を考えてみました。これは日本の保守勢力、日本の軍事大国化をすすめるようとしている勢力、その両極だと思います。しかしその発想の根は違います。石原の考えの基礎にあるのは人種差別主義です。人種差別主義と天皇中心の神の国思想は根っこではつながっていますが違う次元の問題です。大東亜共栄圏、八紘一宇というものは、人種差別主義には建前としてないはずですが。しかしそれが森首相の国粹主義、日の丸・君が代を強制する、そして別のものである天皇制国粹主義と人種差別

医療法人 キム医院

〒544-0005 大阪市生野区中川3-5-2
ジョイフルマンション1F
TEL (06)6752-4567

<診療科目>

内科(循環器・呼吸器・消化器)
小児科・麻酔科・理学診療科・放射線科

<診療時間>

午前 9:00~12:00
午後 5:00~ 7:00
休診 水・土曜日午後 日曜・祝日

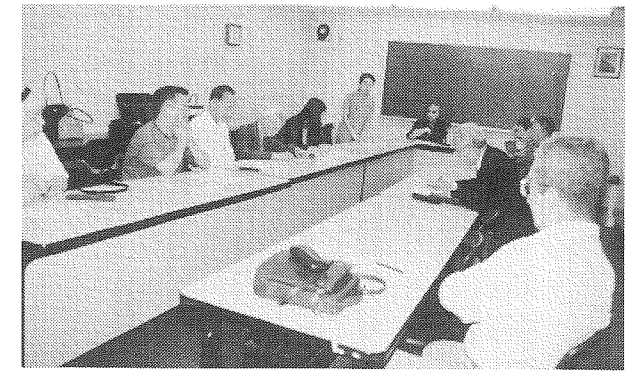
主義が一緒になると怖いことです。

石原慎太郎は横田基地を返せと言いますが、自民党は言えません。横田基地を返せと言うのはインパクトがあります。そういうことが言える男です。彼はNOと言え、しかしほとんどの保守政治家は言えません。外交も軍事もアメリカの許す枠で動いている、そういうのが日本の流れです。それに対し、石原は独自のことをしたいのだと思います。朝鮮半島の問題を言いますが、本当は中国を狙っているのではないかと思います。つまり石原イズムは危険だということです。ただまだ日本社会は彼の発言をそのまま受け入れるような社会ではないだろうと思います。

日本はアジア各国を侵略しました。朝鮮・台湾は植民地にしましたが、「大東亜戦争」の時に各国に必ず親日政権をつくりました。そういう点で石原発言はナチスに近いと思います。日本の近代史は、そういう人種差別主義を基礎にした極端なファシヨ的思想は主流にはなってきませんでした。2・26事件の将校たちは、そういう思想を持っていたかもしれません。しかしその勢力を押さえたいまの形で侵略を続けてきたのが日本の近代史です。ですから石原イズムがドイツファシズムに近い発想だと思いますが、彼らがそういう発言をできないようにする可能性はまだ日本社会にないわけではないと思います。

この問題は多くの関心呼び、石原批判の声明が多く出されました。私たちも出し、聖公会からも出されましたが、彼は居直っています。世論調査では石原発言を支持する人が多いようですが、神の国発言の支持は少ない事実があります。実際は神の国発言の方が国民的反発は少ないはずですが。森首相の発言は受け入れられる基盤があります。それに対し極端な人種差別主義は今のところ反発する人が多いでしょう。しかし世論調査の結果は両者が結合する可能性があり、怖いことです。

私は定住外国人の参政権獲得の運動をしていますが、定住外国人の権利のためだけでなく、直接的には日本社会のためです。日本社会を良くするためです。早い話が外国籍の人で国会議員になる人が数名いたら、国会で日の丸・君が代は困難に



なるし、天皇の国事行事も困難になるはずで、直接的なインパクトを持てるはずですが。

石原慎太郎は新井将敬が衆議院に立候補したとき「彼は本当の日本人ではない」「新井将敬は朝鮮人だ」と電柱にビラを張った男です。石原慎太郎は今回「三国人」発言に関しても誤解を与えたとしたら申し訳ない、そして彼は「私は韓国人にも親しい人はたくさんいます」と言います。石原慎太郎と親しい韓国人はたくさんいるでしょう。日本帝国の植民地支配に協力した朝鮮人もいっぱいいたのですから。

しかし、私たちは人間対人間として連帯し、そして共に生きる道を求めていく時、私は韓国人でも石原慎太郎の側にいる韓国人とは連帯しない。そういう気持ちでアジアの人と共に生きていく道を目指したい。日ごろそう考えています。

ありがとうございました。

(たきざわ・ひでき 大阪商業大学教授)

主催：日本聖公会大阪教区在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会 2000年6月25日 大阪聖パウロ教会にて
文責：編集部

(こころの相談室)

荒川診療所

精神科・神経内科

〒544-0031 大阪市生野区鶴橋2-18-10 88ビル2階
TEL (06)6741-8000 FAX (06)6741-8001

診療時間

受付時間	月	火	水	木	金	土
AM9:00 ~PM1:00	○	○	×	○	○	○
PM 4:00 ~PM7:00	○	○	×	○	○	×

日曜日・祝日は休診です。

聖公会生野センターでの研修を終えて

聖公会生野センターと関係の深い大韓聖公会分かち合いの家協議会から3ヶ月間、2人の方が研修に来られました。韓さんは青少年分野で成さんは障害者の分野を主に研修しました。積極的に多くの人に会って、たくさんの方たちもできたようです。(編集者)

韓貞児

私は4月28日から7月25日まで約3ヶ月間日本で青少年分野についての研修をしました。

2000年を迎えて韓国では社会経済的状況がより一層悪くなり、社会を心配する声が高くなっています。特に韓国は以前から国家競争力のある人材養成を目標にかけ、国家が教育を進めてきました。今の韓国の状況は過熱した入試競争と、それによる学級崩壊で、青少年等の問題が社会問題化しています。

より柔軟な社会のために公教育に対する問題提起と、進学塾に対する議論が広がっています。1997年のIMF経済危機以降、各分野の再検討は始まり、国家が青少年分野に関心を示したことは、評価されることだと思います。でも、いまだに教育財政が不足した状態で、国家負担を減らし、民間社会団体に委託して事業が行なわれていて、国家は一部財政を負担する形式になっています。

したがって青少年事業を委託された民間団体はさまざまなプログラム開発と問題予防教育、システ

ムの向上を求められています。

大韓聖公会の分かち合いの家活動の青少年部門は、そのような中でさまざまな研修プログラムを開発しています。私もそのような目的で今回の研修に参加しました。多くのプログラムが行なわれているソウルとは違い、私が仕事をする全州には、まだ青少年総合センターがありません。

私は今回の研修に、韓国と似た日本社会に内心期待をしていました。その理由は、現在日本社会で大きな問題になっているいじめ、不登校、虐待問題などが、韓国社会でも徐々に大きくなっている、そういう問題に日本社会がどのように対処しているのか、今後の推移を知りたいと思っていました。

日本での研修は青少年福祉ではなく児童福祉に始まりました。日本では20才以上の大学生までも幅広く児童福祉としていて、3個所の児童養護施設、和泉乳児院、清心寮、三光塾で1週間ずつ実習をさせていただきました。児童養護施設では年々入所する子どもは少なくなっていますが、その入所の理由は多様化していました。最近では虐待を受け入所することも多くなっています。子どもの問題は子どもだけの問題でなく親と地域社会が共に解決すべき問題であると思います。また大阪府立池田家庭センター(児童相談所)などの公的機関や不登校の子どものためのフリースクールなどを訪問しました。

家庭センターは相談や一時保護などをおこない、必要なときは施設に連結する役割をしていました。しかし、公的な財政による公共機関であるだけに、もう少し積極的なプログラム開発が必要だと感じました。

また、とても興味を持っていたフリースクールは、民間団体によって運営されており、学校に行かない子どもたちを自由に受け止める空間がありました。電車などに乗って遠くからも子どもたちが利用していました。



児童・青少年の問題を重要と考えていない社会では青少年が夢を持つことができず、無気力な生活をせざるをえないと思います。日本社会を見ながら今後の韓国の状況を考えると参考になることが多いと思います。社会の問題は青少年の問題であることを認識することが必要だと思います。

また日本社会の文化と伝統にも触れ、良い研修になりました。

研修を受け入れてくださった先生たちと、子どもたち、そして生活を支えてくださった聖ガブリエル教会の皆さまに感謝申し上げます。

(はん・じょんあ)

咸允淑

決して短くはない期間、日程を作りいろいろと神経を使ってくくださった事に対して感謝いたします。特に生野地域では障害者の作業所が多く、いろんな所を訪問し、見て、聞いて、感じて、考えて、知り合いになり、分かち合いの生活をする事が出来、他国ということをお忘れのこともありました。

1つの機関で研修が終わったあとも再び訪れて連絡するという、通り過ぎる旅人ではなく、彼らの生にも、そして自分の生にも足跡を残すことになったのをうれしく思います。

初めて日本へ研修できた時、日本は韓国よりも経済力が強いので施設もとても良く、いろんな制度やシステムもずっと良いと思い、内心期待も多くありました。ところが考えていたよりも施設も制度もそれほど良くはないと感じたのは事実です



が、それよりも貴重なものを得て帰ります。

どの国、どの世界でも弱者は差別を受けており、抑圧されます。その一部分である障害者たちは又、経済力に関係なく社会から暗黙のうちに差別を受けているのは事実です。しかし私たちが忘れてはならないことは、障害者は私たちとは違う人ではなく、私たちが「健康」という服を着たとするならば障害者は健康な服を着た人が見たら少しだけ違った服を着ただけということです。違う模様の服を着ただけでは差別の対象にはなりません。

そうです。今回研修を通して出会った貴重な出会いの中で心強い後援者を得て帰ります。研修した学生としてそれよりも大きな力はありません。希望をいただきました。

これからも多くの交流がなされるのを希望しています。とても忙しい中でも1つずつ神経を使ってくくださった呉光現先生と鈴木恵一さんと聖ガブリエル教会の神父ご夫妻、信徒のみなさまに心より感謝いたします。

(はむ・ゆんすく)



「世界の市民」の育成
St. Andrew's University
桃山学院大学

Fostering Citizens of the World

- 文学部/英語英米文学科・国際文化学科
- 社会学部/社会学科・社会福祉学科
- 経済学部 ●経営学部 ◆大学院

〒594-1198 和泉市まなび野1-1 ☎0725-54-3131 <http://www.andrew.ac.jp/> 泉北高速「和泉中央」下車

■ 桃山学院高等学校 / 英数コース / 標準コース ◆2001年4月 国際コース開設(男女共学)

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-64 ☎06-6621-1181 地下鉄「昭和町」下車

바지 바람 스폰의風



- (幼稚園にて)
- ①ハエリン、美術賞もらいましたよ。そうですか？
 - ②うちの幼稚園からはハエリン一人だけが賞をもらいました。応募資格が6歳以上なのに5歳でも一緒に応募してもらったんですよ。
 - ③ハエリン、幼稚園で美術賞をもらった友達は何人？ 私一人よ。
 - ④アッパの言ったようにロボットと王女は描かなかったわ。
 - ⑤うわー ライオンキングみたい。
 - ⑥行こう。オンマに自慢しよう。ヤッホー。(もう、うるさいわね。)



注①ズボン: 韓国では教育熱心なあまり、あそこの塾、ここの塾とスカートに風になびかせて走り回る母親の姿を「スカートの風」と言って、「教育ママ」の代名詞になっている。ここではスカートの代わりにズボンの風と表現して、娘が賞を貰った事に舞い上がっているアッパを皮肉っている。

注②アッパ: 子ども言葉で「お父ちゃん」
オンマ: 子ども言葉で「お母ちゃん」

作者: 崔正鉉 (ちえ・じょんひょん)
パンチョギ (もう一方) の愛称で親しまれる。1960年韓国大邱生まれ。娘の誕生以降子育てをマンガで表現。ユニークな描写と男性優位の韓国社会で家事分担が評価。1995第1回平等夫婦賞受賞。

- ⑦オンマ、美術賞もらったとアッパがプレゼントを買ってくれたよ。 そう？
- ⑧ぼくが初めて賞をもらったときはお父さんから10ウォンもらったけどハエリンは僕がもらったものの千倍もらったよ。
- ⑨これ見て、盾と額を申請すれば作ってくれるさ。
- ⑩2つとも申請すれば4万ウォンだと書いてあるね。5千倍になってしまったね。



親愛幼稚園

園長 古賀久幸

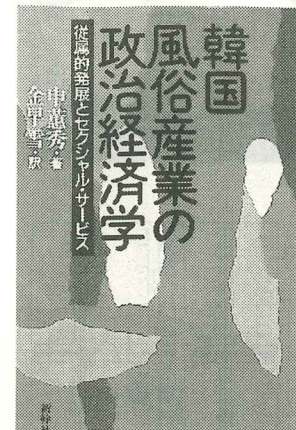
〒630-8213 奈良市登大路町44
TEL (0742)23-3210 FAX(0742)23-6786

一本当に重要なことを見分けられるように—
フィリピ1:10

2001年度 入園説明会 9月1日
願書受付 9月1日~4日

本から「在日コリアン」を考える②

高二三



韓国風俗産業の政治経済学—従属的發展とセクシャルサービス

申蕙秀 (しん・へす) 著
金早雪 (きむ・ちよそる) 訳
定価2400円+税

1993年に作った本に『アジアの観光開発と日本』(松井やより)がある。松井やよりさんはとても尊敬するジャーナリストで、かつての職場であった朝日新聞社には何度もそして一度だけだったが、ゲラをいただきにご自宅へも伺ったことがある。長女が幼稚園の頃、カメラとペンをもって新聞記者になりたいと言っていたことがあるほど、我が家、わが社では絶大な影響力があった人である。

その松井さんの本のくだりにこんな一説があった、どうにも納得できなくて問い合わせしてみた。「100万人以上の女性が韓国では売春をしている」と言うのである。疑問をもたないでやりすごすところであったが、私にはなぜかひっかかった。仮に韓国の総人口が5000万人として、女性がその半分の2500万人。すると単純計算で25人に1人が売春をしているということになる。ましてや売春をするにも年齢的な制約もあるだろうから、と、そう考えると年頃の女性の10人に1人になってしまう。ソウルの街を闊歩する若い女性たち、10人が通り過ぎるとそのうち1人が売春婦だと言うのだ。そんなバカな話があつてよいものか、とその場でパタッと仕事が進まなくなってしまった。

私の問い合わせに松井さんが送ってくださったのが、アメリカのニュージャージー州立大学の社会学博士学位論文であった。SHIN HeiSooさんのWoman's Sexual Services and Economic Development: The Political Economy of the

Entertainment Industry in the South Korean Dependent Developmentであった。もちろん英文である。すらすら読めるものでもなく、ずっと手許においておくことになった。

94年の秋の「ホルモン文化」の読書会があったおり、朴和美さんに翻訳をお願いしてみた。しかしその頃の朴和美さんは多くの仕事をかかえていて、とても翻訳ができるような状況になかった。英語が出来て、フェミニズムに通暁している同胞の女性という、そんなにいるものではない。酒席で肩を落としていると金早雪さんが「二三さん、わたしでよければやろうか……」と言った。「早雪、英語できるのか?」「まあ、読んだり書いたりぐらいならね。」「なあんだ、早雪、英語できるんだ」。その場で交渉は成立した。

金早雪さんは実にていねいな仕事をするひとである。何度か韓国に行き、申蕙秀さんとも会って疑問点を解消した。そうこうしているうちに、金さんは海外研修にイギリスへ1年間行くことになった。帰国した年の10月に刊行されたのが『韓国風俗産業の政治経済学—従属的發展とセクシャル・サービス』である。

韓国を祖国に持つ者として、どうしてもこだわりのあったテーマの一つが本書である。植民地の時代、米軍政の時代、そして軍事独裁の時代、近現代を通して同胞の女性が売買されてきた痛みを知らねばならない。そして現代までシステムとして組み込まれている性産業の中で呻吟する女性はあとを絶たない。一刻も早く、そのような現実を克服しなければならない。

この本は『朝日新聞』などの書評で絶賛された。地味な売れ行きであるが、この春第2刷を出した。思いが伝わって嬉しい仕事ができたとよろこんでいる。(こ・いーさむ 新幹社代表)

『韓国風俗産業の政治経済学—従属的發展とセクシャル・サービス』は聖公会生野センターでも取り扱っています。

9. 1関東大震災朝鮮人大虐殺から77年

共に生きるを考える第9回
憎しみ偏見を

溶かす人たち
固める人たち

石原都知事「三国人」発言を問う

「三国人」発言を問う
石原都知事の発言をめぐって、多くの人が疑問を抱き、議論を巻き起こしている。この中で、石原都知事の発言を問うというテーマで、第9回の「共に生きるを考える」を開催する。この中で、石原都知事の発言を問うというテーマで、第9回の「共に生きるを考える」を開催する。

石原都知事「三国人」発言を問う
「三国人」発言を問う

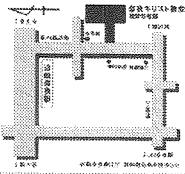
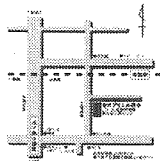
講師 朴慶南さん

(エッセイスト・石原めぐりネットワーク共同代表)



9月9日(土) 午後5時から

日本聖公会聖ガブリエル教会
近鉄布施駅・地下鉄小路駅より 徒歩5分
大阪市生野区小路東1-17-28 TEL(06)6754-1236



9月10日(日) 午後2時から

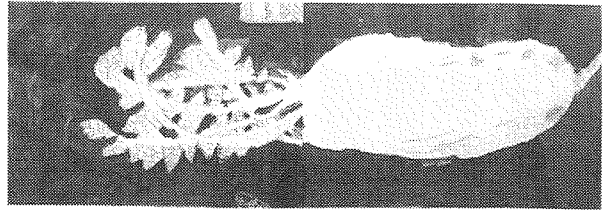
日本聖公会奈良キリスト教会
近鉄奈良駅より 東向商店街を徒歩3分
奈良市壺大路町45 TEL(0742)22-3818

主催 お問い合わせ:聖公会生野センター

大阪市生野区小路東1-17-28 TEL(06)6754-4356 FAX(06)6754-4357
e-mail:ikuno.po@nsskk.org http://www.nsskk.org/province/ikuno

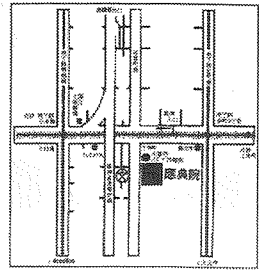
共催:日本聖公会奈良キリスト教会(01F) 他:日本聖公会大阪府区在日朝鮮人宣教師協議会(01F) / 日本聖公会京都府区在日朝鮮人宣教師協議会(01F)

クリン・もだん絵画展



絵を見てもらいたい
正当な評価をしてもらいたい
家に絵を飾ることは素敵なことである。
絵を描くことは素敵なことである

日時 9月23日(土)
~10月1日(日)
11:00~20:00 最終日のみ 17:00まで
会場 應典院 天王寺区下町1-4-27
TEL(06)6711-7641



主催 クリン・もだん絵画展実行委員会

連絡先: 聖公会生野センター(鈴木)

代表 鈴木幸夫(聖公会生野センター絵画教室自援ボランティア)
鈴木進一(事務局) 聖公会生野センター事務局

クリン(白猫)とは韓語で「絵を描く」という意味。そして平和の色グリーン(〇印)です。

余韻

◆南北首脳会談の急転直下の開催に始まり、両首脳のにこやかな握手に終わった朝鮮半島における劇的な政治的発展は、かつて新聞記者の端くれとして国際問題に首を突っ込んできた者として、恥ずかしいくらいに自分の浅学微才を思い知らされるものだった。したり顔でニュース解説をする、うすっぺらなマスコミの一面に忸怩たる思いであった。朝鮮半島の人たちの民族的な心の襲の深さを知ることはむずかしい。ただ過去に責任を持つ隣人として彼らと共に歩み、謙虚に学ぶとの原点に常に立つこと一と再認識したことだった。(大)

◆8月に生野に3つ目の精神障害者の小規模作業所がオープンしました。名前は「画布(がふ)」と言います。新しいキャンバスにどんな絵を書いていくか、利用するメンバーと一緒に考えていく。そんな作業所をめざしています。一人一人に応えられる支援がもっとも必要です。(す)

—お詫びと訂正—

15号8ページのタイトルが間違っていました。「すいすい」の解説→「すいすい」の開設です。林明さんをはじめ、みなさんにお詫びし訂正いたします。どうも、すみませんでした。

聖公会生野センターへのご支援をお願いします

◇後援会費

年額 1口 3,000円(個人) 1口 10,000円(団体)

・郵便振込00960-0-133429 「聖公会生野センター後援会」

◇自由献金・クリスマス献金

・郵便振込 00910-1-321780 「聖公会生野センター」

・銀行振込 三和銀行 東大阪支店

普通預金 3711311 「聖公会生野センター」

発行所: 聖公会生野センター

〒544-0003

大阪市生野区小路東1-17-28

TEL06-6754-4356/FAX06-6754-4357

E-mail:ikuno.po@nsskk.org

http://www.nsskk.org/province/ikuno

発行人: 木村 幸夫

編集人: 大橋 襄